

東京薬科大学研究データポリシー

(目的)

1. 東京薬科大学（以下「本学」という。）は、「ヒューマニズムの精神に基づいて、視野の広い、心豊かな人材を育成し、薬学並びに生命科学の領域にて、人類の福祉と世界の平和に貢献する」ことを理念としている。これらの理念に基づき、薬学および生命科学の発展に資するため、本学の研究過程で得られた研究成果を適切に保存・管理・公開し、可能な限り研究データの利活用を促進することに努め、研究の質と透明性を向上させるとともに、さらなる研究の発展と社会への還元に取り組む。以上のことから、研究データポリシーを以下のとおり定め、本学における研究データの保存・管理および公開に関する基本指針を示す。

(研究データの定義)

2. 本ポリシーにおける研究データとは、研究者が本学における研究活動において収集または生成したデータをいい、デジタルか否かを問わない。

(研究者の定義)

3. 本ポリシーが対象とする研究者は、本学の役員、教職員、学生等とする。

(研究者の責務)

4. 研究者は、原則として、自らが収集・生成した研究データを適切に管理し、可能な限り公開し利活用に供する権限を有するものとする。ただし、研究分野の特性を踏まえ、法令及び本学の諸規程ならびに他者の権利を害さない範囲において適切にこれを行うものとする。

(大学の責務)

5. 本学は研究データ保存・管理および利活用を支援する環境を整備するものとする。

(ポリシーの見直し)

6. 本学は、社会状況や学術環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。

附則

本ポリシーは、2024年3月26日から適用する